



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社 研創

上場取引所 東

コード番号 7939 URL <https://www.kensoh.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 大一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 浦上 忠久

TEL 082-840-1000

定時株主総会開催予定日 2024年6月26日

配当支払開始予定日

2024年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期	5,888	2.2	259	17.4	256	17.3	183	27.1
2023年3月期	6,020	11.5	313	5.2	310	5.1	252	35.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2024年3月期	48.82		6.0	4.3	4.4
2023年3月期	67.27		8.7	5.3	5.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 百万円 2023年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2024年3月期	5,762	3,147	54.6	834.63
2023年3月期	6,062	3,012	49.7	801.46

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,147百万円 2023年3月期 3,012百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	223	144	338	478
2023年3月期	213	125	384	508

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2023年3月期		0.00		16.00	16.00	60	23.8	2.1
2024年3月期		0.00		16.00	16.00	60	32.8	2.0
2025年3月期(予想)		0.00		21.00	21.00		49.4	

### 3. 2025年3月期の業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,938	0.8	237	8.6	232	9.7	160	13.0	42.46

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	4,022,774 株	2023年3月期	4,022,774 株
期末自己株式数	2024年3月期	251,205 株	2023年3月期	264,021 株
期中平均株式数	2024年3月期	3,767,437 株	2023年3月期	3,753,402 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、社会経済活動の正常化とインバウンド需要等の回復が顕著となりましたが、世界的な物価高と主要各国の金融引き締め等を背景とする世界経済の減速懸念が残っており、先行き不透明感が続いています。

また、当社の経営成績に影響を及ぼす建築動向も、依然として全国的な都市再開発などの継続が確認されるものの、長引くウクライナ・中東情勢や国内外の金利政策の変化等が国内企業の建設投資意欲に影響を及ぼすことが懸念され、予断を許さない状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社は中期経営計画（2022年度-2026年度）2年目にあたり、①生産工程の機械化・自動化 ②製品品質の向上 ③収益基盤の再構築 ④経営の効率化 ⑤人材育成 といった重点推進課題を掲げ、課題解決に向けた取り組みを推進しました。

これらの結果、当事業年度の売上高は58億88百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は2億59百万円（前年同期比17.4%減）、経常利益は2億56百万円（前年同期比17.3%減）、当期純利益は1億83百万円（前年同期比27.1%減）となりました。

なお、当社が手がけるサイン製品の需要は下半期に偏る一方で、固定費はほぼ恒常的に発生するため、当社は利益が下半期に偏るなど経営成績に季節的な変動があります。

また、当社はサイン製品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績については記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は28億38百万円となり、前事業年度末に比べ1億87百万円減少しました。これは主に売上債権が81百万円減少したことによるものであります。固定資産につきましては29億24百万円と、前事業年度末に比べ1億12百万円減少しました。これは主に「投資その他の資産」のその他に含まれる保険積立金が69百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は57億62百万円となり、前事業年度末に比べ2億99百万円減少しました。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は19億59百万円となり、前事業年度末に比べ7億55百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が6億59百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は6億54百万円となり、前事業年度末に比べ3億19百万円増加しました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は26億14百万円となり、前事業年度末に比べ4億35百万円減少しました。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は31億47百万円となり、前事業年度末に比べ1億35百万円増加しました。これは主に繰越利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.6%（前事業年度末は49.7%）となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による支出、投資活動による支出、財務活動による収入の差引の結果、前事業年度末に比べ29百万円の減少となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動の結果支出した資金は2億23百万円となりました（前事業年度は2億13百万円の支出）。この主たる要因は支払手形の利用の廃止により仕入債務の減少額が6億59百万円あったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の投資活動の結果支出した資金は1億44百万円となりました（前事業年度は1億25百万円の支出）。この主たる要因は固定資産の取得により2億16百万円支出したことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の財務活動の結果得られた資金は3億38百万円となりました（前事業年度は3億84百万円の収入）。この主たる要因は有利子負債が増加したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社業績に影響を及ぼす建築業界動向は、全国的な都市再開発案件等が確認できるなど、需要は依然として旺盛であると思われます。

一方で、海外の経済・物価動向、ウクライナ・中東情勢の展開、資源価格の動向などにより、依然として予断を許さない状況が続くものと思われます。

以上の状況を見据え、次期は2022年5月に発表致しました「中期経営計画（2022年度-2026年度）」3年目にあたり、引き続き次の重点推進課題を掲げ、課題解決に取り組んで参ります。

- ①生産工程の機械化・自動化
- ②製品品質の向上
- ③収益基盤の再構築
- ④経営の効率化
- ⑤人材育成

以上により、次期の業績見通しは、売上高59億38百万円（前期比0.8%増）、営業利益2億37百万円（前期比8.6%減）、経常利益2億32百万円（前期比9.7%減）、当期純利益1億60百万円（前期比13.0%減）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、日本基準及び国際会計基準による並行開示の負担等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

### 3. 財務諸表及び主な注記

#### (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	640,084	610,597
電子記録債権	287,049	431,131
受取手形、売掛金及び契約資産	1,645,124	1,419,342
商品及び製品	62,589	51,446
仕掛品	95,123	97,575
原材料及び貯蔵品	195,310	208,245
前払費用	5,201	5,393
その他	94,963	15,793
貸倒引当金	△174	△1,284
流動資産合計	3,025,273	2,838,241
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,253,683	3,276,201
減価償却累計額	△2,572,450	△2,625,689
建物（純額）	681,232	650,511
構築物	390,609	392,759
減価償却累計額	△332,128	△337,255
構築物（純額）	58,481	55,504
機械及び装置	962,650	1,002,908
減価償却累計額	△852,541	△895,081
機械及び装置（純額）	110,109	107,827
車両運搬具	80,452	80,452
減価償却累計額	△78,340	△79,648
車両運搬具（純額）	2,112	804
工具、器具及び備品	157,274	158,649
減価償却累計額	△135,663	△134,114
工具、器具及び備品（純額）	21,611	24,534
土地	1,680,159	1,680,159
建設仮勘定	64,016	71,441
有形固定資産合計	2,617,722	2,590,782
無形固定資産		
ソフトウェア	74,613	60,558
電話加入権	6,649	6,649
無形固定資産合計	81,263	67,207
投資その他の資産		
投資有価証券	22,586	30,463
出資金	285	285
株主、役員又は従業員に対する長期貸付金	3,720	4,108
破産更生債権等	3,482	-
繰延税金資産	107,120	97,005
その他	204,264	134,326
貸倒引当金	△3,482	-
投資その他の資産合計	337,976	266,189
固定資産合計	3,036,962	2,924,180
資産合計	6,062,236	5,762,421

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	628,431	-
買掛金	321,970	291,144
短期借入金	980,000	890,000
1年内返済予定の長期借入金	186,294	380,663
未払金	323,804	142,584
未払費用	68,303	67,261
未払法人税等	65,507	35,409
預り金	7,872	7,829
賞与引当金	79,879	65,651
その他	52,719	79,219
流動負債合計	2,714,783	1,959,763
固定負債		
長期借入金	177,598	472,764
退職給付引当金	151,271	175,909
役員退職慰労引当金	4,350	4,350
資産除去債務	1,728	1,753
固定負債合計	334,948	654,777
負債合計	3,049,732	2,614,540
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	664,740	664,740
資本剰余金		
その他資本剰余金	267,245	268,757
資本剰余金合計	267,245	268,757
利益剰余金		
利益準備金	50,932	56,946
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,112,511	2,230,298
利益剰余金合計	2,163,443	2,287,244
自己株式	△94,534	△89,945
株主資本合計	3,000,895	3,130,797
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,609	17,083
評価・換算差額等合計	11,609	17,083
純資産合計	3,012,504	3,147,880
負債純資産合計	6,062,236	5,762,421

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	6,020,260	5,888,372
売上原価		
製品期首棚卸高	40,726	62,589
当期製品製造原価	4,243,633	4,136,684
合計	4,284,360	4,199,274
製品期末棚卸高	62,589	51,446
製品売上原価	4,221,770	4,147,827
売上総利益	1,798,490	1,740,545
販売費及び一般管理費		
販売費	344,727	330,328
一般管理費	1,139,831	1,150,810
販売費及び一般管理費合計	1,484,559	1,481,139
営業利益	313,930	259,405
営業外収益		
受取利息	27	40
受取配当金	685	912
受取地代家賃	1,746	1,746
助成金収入	1,514	2,258
受取手数料	787	774
その他	629	1,121
営業外収益合計	5,390	6,853
営業外費用		
支払利息	1,541	2,670
債権保全利息	6,421	5,920
その他	784	728
営業外費用合計	8,746	9,319
経常利益	310,574	256,940
特別利益		
受取補償金	18,716	—
保険解約返戻金	—	2,836
補助金収入	15,445	13,000
特別利益合計	34,162	15,836
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産圧縮損	15,445	3,000
特別損失合計	15,445	3,000
税引前当期純利益	329,291	269,776
法人税、住民税及び事業税	80,744	78,122
法人税等調整額	△3,929	7,712
法人税等合計	76,814	85,835
当期純利益	252,477	183,941



製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)		当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		1,155,056	27.0	1,134,070	27.3
II 労務費	※1	986,580	23.0	990,338	23.8
III 経費	※2	2,141,665	50.0	2,036,484	48.9
当期総製造費用		4,283,302	100.0	4,160,893	100.0
期首仕掛品棚卸高		76,361		95,123	
合計		4,359,663		4,256,017	
他勘定振替高	※3	20,906		21,757	
期末仕掛品棚卸高		95,123		97,575	
当期製品製造原価		4,243,633		4,136,684	

原価計算の方法

原価計算の方法は、個別原価計算制度を採用しており、予定価格によっておりますので原価差額を売上原価および棚卸資産に配賦しております。

(注) ※1. 引当金繰入額の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
賞与引当金繰入額 (千円)	42,983	36,931
退職給付費用 (千円)	17,975	15,868

※2. 経費の主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
外注加工費 (千円)	1,715,354	1,592,891
消耗品費 (千円)	191,594	202,771
減価償却費 (千円)	85,737	85,324

※3. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
広告宣伝費 (千円)	15,345	16,124
開発研究費 (千円)	4,356	2,466
その他 (千円)	1,203	3,166
合計 (千円)	20,906	21,757

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	664,740	266,021	266,021	45,318	1,921,780	1,967,099
当期変動額						
利益準備金の積立				5,613	△5,613	—
剰余金の配当					△56,133	△56,133
当期純利益					252,477	252,477
自己株式の処分		1,224	1,224			
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						
当期変動額合計	—	1,224	1,224	5,613	190,730	196,344
当期末残高	664,740	267,245	267,245	50,932	2,112,511	2,163,443

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△100,461	2,797,400	11,372	11,372	2,808,772
当期変動額					
利益準備金の積立		—			—
剰余金の配当		△56,133			△56,133
当期純利益		252,477			252,477
自己株式の処分	5,926	7,150			7,150
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			236	236	236
当期変動額合計	5,926	203,495	236	236	203,731
当期末残高	△94,534	3,000,895	11,609	11,609	3,012,504

当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	664,740	267,245	267,245	50,932	2,112,511	2,163,443
当期変動額						
利益準備金の積立				6,014	△6,014	—
剰余金の配当					△60,140	△60,140
当期純利益					183,941	183,941
自己株式の処分		1,511	1,511			
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						
当期変動額合計	—	1,511	1,511	6,014	117,787	123,801
当期末残高	664,740	268,757	268,757	56,946	2,230,298	2,287,244

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△94,534	3,000,895	11,609	11,609	3,012,504
当期変動額					
利益準備金の積立		—			—
剰余金の配当		△60,140			△60,140
当期純利益		183,941			183,941
自己株式の処分	4,588	6,100			6,100
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			5,474	5,474	5,474
当期変動額合計	4,588	129,901	5,474	5,474	135,376
当期末残高	△89,945	3,130,797	17,083	17,083	3,147,880

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	329,291	269,776
減価償却費	138,295	143,090
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,100	△2,372
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,263	△14,228
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,928	24,638
譲渡制限付株式報酬	7,213	6,363
受取利息及び受取配当金	△712	△952
支払利息	1,541	2,670
固定資産除却損	0	0
固定資産圧縮損	15,445	3,000
受取補償金	△18,716	-
保険解約返戻金	-	△2,836
補助金収入	△15,445	△13,000
売上債権の増減額 (△は増加)	△108,382	81,700
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△73,181	△4,243
仕入債務の増減額 (△は減少)	△389,427	△659,258
その他の資産の増減額 (△は増加)	△42,550	26,349
その他の負債の増減額 (△は減少)	48,091	△41,822
小計	△115,629	△181,124
利息及び配当金の受取額	712	952
利息の支払額	△1,524	△2,517
補助金の受取額	3,000	25,445
補償金の受取額	-	18,716
法人税等の支払額	△100,427	△84,723
営業活動によるキャッシュ・フロー	△213,867	△223,251
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△132,000	△132,000
定期預金の払戻による収入	132,000	132,000
有形固定資産の取得による支出	△85,317	△185,348
無形固定資産の取得による支出	△7,600	△31,484
保険積立金の積立による支出	△29,674	△29,674
保険積立金の解約による収入	-	101,840
敷金・保証金等の増減額 (△は増加)	△475	609
貸付けによる支出	△3,410	△2,210
貸付金の回収による収入	1,050	1,877
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,427	△144,391
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	380,000	△90,000
長期借入れによる収入	300,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△240,720	△310,465
配当金の支払額	△54,870	△61,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	384,409	338,155
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	45,114	△29,486
現金及び現金同等物の期首残高	462,970	508,084
現金及び現金同等物の期末残高	508,084	478,597

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当する関連会社がないため、記載しておりません。

(セグメント情報)

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)及び当事業年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社は、サイン製品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産	801円46銭	834円63銭
1株当たり当期純利益	67円27銭	48円82銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益(千円)	252,477	183,941
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	252,477	183,941
普通株式の期中平均株式数(株)	3,753,402	3,767,437

(重要な後発事象)

該当事項はありません。